

1. セラピスト

●セラピスト講座

講座にはいろいろなものがあります。趣味の範囲の講座、資格を取る講座、スキルをあげるための講座等々、様々ですね。どうせ時間とお金を使って講座を選ぶなら、興味がもてて、かつ資格もとれそうな講座がいいですね。

セラピストという言葉は、現在よく聞くようになりました。セラピストとは、何らかのセラピーを行う人のことで、療法士、治療士とかつてはと言われていました。現代は大変ストレスの多い時代。様々なストレスで疲労している現代人を、心身ともに「癒す」人、それがセラピストです。

代表的なセラピスト、セラピーは、まずアロマセラピー(セラピー)です。香りによって人をリラックスさせるセラピーですね。その他、アニマルセラピー、カラーセラピー、アートセラピー、整体セラピスト、リフレクソロジーセラピスト、前世療法、催眠セラピーなど多種多様なセラピー(セラピスト)の種類があります。

セラピストと一口にいても、それぞれ専門性が高く、その分野のセラピストになるためには、必要な知識と技能を修得しなければなりません。そのために講座に通ったり、あるいは通信講座で学ぶ必要があります。

writer=クツミ

●セラピスト講座には

セラピストとは、心身の「癒し」に重きをおいた治療士、療法士のことです。医学的な病気を治療する医師ではありませんが、ある意味もっとデリケートな精神の部分フォローアップするのがセラピストの仕事です。よって、専門的な知識や技能が不可欠で、それを学ぶために講座に通う(あるいは、通信講座で学ぶ)必要が出てきます。

セラピスト講座には、いろいろあります。セラピスト自体に、いろんな種類がありますから、それだけの講座があるといえます。

代表的なアロマセラピストでいうと。社団法人日本アロマ環境協会とか、日本アロマコーディネーター協会といった団体ごとに認定校(講座)があり、取得資格もそれぞれ異なっています。資格といっても民間資格であるため、どの講座で取れる資格が優れているとか一概にいえず、資格があれば即セラピストの道・仕事が保障されているものでもないようです。

講座を選ぶには、まず通学講座か通信講座か、自分の生活スタイルにあわせて目的を達成できそうなものを選ぶようにしましょう。特に、セラピスト講座は「癒し」を与える人になるための講座。選んだ講座がストレスになってはしょうがないですからね^_^;

writer=クツミ

2. ドレナジスト

●ドレナジスト講座

講座にはいろいろなものがありますが、どの講座にしても興味をもつ人が多いようです。学校(義務教育)では学ぶことのできないことが学べたり、それが他人の役に立ったり、職業につくのに必要な技術や知識だったりするのが、講座が人気がある理由かと思います。

ドレナジストという言葉は聞いたことがあるでしょうか。一般に「リンパドレナジスト」として使われ、リンパのドレナージュを行う療法士のことです。ドレナージュとは、「排液」または「排出」という意味をもつフランス語のことで、特徴のあるマッサージ方法で刺激を与え、リンパや血液の流れをよくして溜まった老廃物を流し、体質改善や美容効果を高める療法のことです。

こんな職業もあるのねえ、と思ったわけですが。もちろん、ドレナジストになるための講座もあります。ドレナジストは、学んだ技術が他人の健康を促進させるものなので、やりがいのある仕事という印象がもてますね。

writer=クツミ

●ドレナジスト講座には

ドレナジスト(リンパドレナジスト)になるためには、ドレナジストの技法を学べる講座で、知識や技術を習得する必要があります。ドレナジストとは、マッサージを施してリンパ液の流れを良くして、クライアントの体質改善を行う療法士のことです。

ドレナジストになるための講座としては、たとえばホリスティック医学アカデミーにおけるリンパドレナジスト養成講座があります。所定の課程を修了すると、「日本代替医療協会」からプロとしての認定証が授与され、さらに必要な支援プログラムを享受することが出来るとなっております。

もちろん、その他の団体の講座においても、そういった資格や特典があるかと思います。講座で学んで資格をとって。リンパドレナジストとしての夢を達成できるといいですね。

writer=クツミ

3. ビューティーアドバイザー

●ビューティーアドバイザー講座

講座には、専門的な知識や技術を身に付けることができる講座が多々あります。そして、その専門的な知識や技術なしではできない職業も多々あります。「手に職」を持つ、という言葉がありますが、講座はその「手に職」をもたせるための重要な存在だったりします。

ビューティーアドバイザーという職業がありますが、ビューティーアドバイザーとは、化粧品会社の美容部員のことをいいます。ビューティーアドバイザーは、その時来店された個々のお客様に合った化粧方法を提供するのが仕事です。よって、幅広くメイク方法や化粧品に関する知識とテクニックを身に付けなくてはなりません。お客様のスキンケアについてのアドバイスもしますから、医薬分野の基礎知識も必要とされます。

ビューティーアドバイザー講座では、そういった知識・技術を学ぶこととなりますが、考えてみれば、高校くらいまでは学校に化粧をしていたら怒られるのに、学校(講座)で化粧方法を学ぶというのは、なかなか斬新な展開です(笑)。

美しくありたい、この願望がある限り、ビューティーアドバイザーの存在は揺るぎなく、そのための講座もまた必要不可欠でしょうね。

writer=クツミ

●ビューティーアドバイザーになるには

ビューティーアドバイザーとは、化粧品に関するプロの美容部員のことです。

ビューティーアドバイザーになるには、やはり講座(専門学校)に通うのが一番でしょう。講座には、期間も3ヶ月から1年間、入学金や受講料もピンからキリまで、様々あります。今仕事に就いていて、学校に通うことができないという人は通信講座もあります。自分の生活スタイルにあった形で、まずはできるところから手をつけていくのがいいでしょうね。

ビューティーアドバイザーを志す方の一つの目標として、ビューティ国際美容連盟(IBF)が行うメイクアップアーティストの認定資格試験というのがあります。年4回行われるこの試験は、メイクアップアーティストとしての基本となる技量・実力を証明するものといわれております。

どうせ目指すなら、実力のあるビューティーアドバイザー。講座を選ぶ際にも、この認定試験をクリアできるよう、考慮するといいでしょう。

writer=クツミ

4. ネイリスト

●ネイリスト講座

講座の中でも、圧倒的に多いのは英語と美容関係かな、などと数えたわけでもないですが、ぱっと見、そんな気がします。わたしたちの美への飽くなき欲求は、きっと永遠に不滅でしょう^^

ネイリストという、お客様の爪や指先を美しくするプロの人たちがいます。ネイルアーティストともいいます。爪は小さいスペースですが、意外に目立つところ。そこでセンスのいいネイルケア・ネイルアートが注目されるわけです。

ネイリストになるための講座は多々あります。ネイリスト講座では、基本的なネイルケアの知識や技術を学びます。さらにネイリストは、爪という小さなスペースでお客様に満足をいただけるようなアート性、独創的なセンスも必要。そういった部分も、もちろん講座において指導を受けることで洗練されていくでしょう。

ネイリストは、ネイルサロンの他、ヘアサロンやエステサロン、ブライダルサロンなど需要が多々あります。ネイリストを夢みている方は、まずは講座で学んで実力を身につけて。夢への一步を踏み出す機会はいつでもあります^^

writer=クツミ

●ネイリストになるには

ネイリストとは、お客様の爪や指先に「美」「アート」を施すプロの人たちです。ネイリストになるには、ネイリスト講座で、必要な専門的知識・技能を学ぶ必要があります。さらに講座での課程が修了したら、日本ネイリスト協会が行う「ネイリスト技能検定試験」という試験にチャレンジするといいいでしょう。

ネイリスト技能検定試験には筆記試験と実技試験があります。おおまかにいえば、1級はトップレベルのネイリスト、2級はサロンワークで通用するネイリスト、3級はネイリストとしてのベーシックな技術や知識を身に付けているという認定がなされます。なお、1級は2級合格者でなければ受験できません。

ネイリストになりたくても、まずは実力がないとお客様に喜んではもらえません。ネイリストになるために講座もたくさんありますが、講座で知識や技能は教えてくれますが、それを本当に身に付けていくには、本人のやる気と根気が必要。そればかりは講座では教えてはくれませんので、ぜひ自分を叱咤激励して、夢を叶えてくださいね。

writer=クツミ